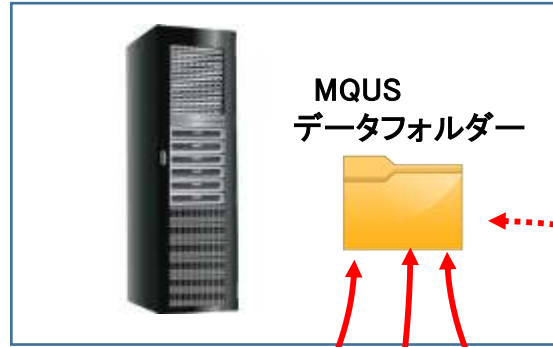


社内でインターネットファイルサーバ
を運用していれば

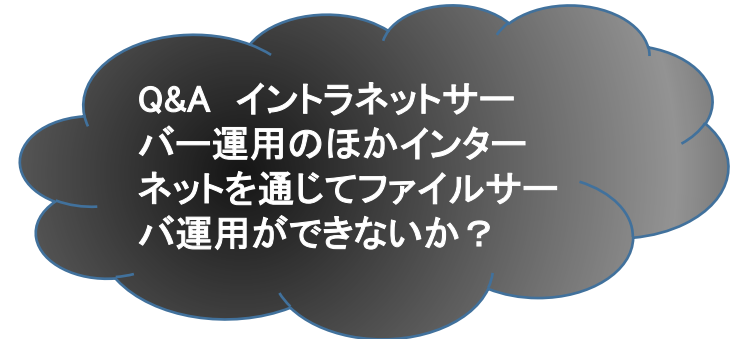
インターネットを通じたネットサーバー運用
(MQUSのデータフォルダーにアクセスし
編集・保存・閲覧)が出来ることが確認でき
ました。

モバイルVPNの外部からの接続確認
もできました。

インターネットファイルサーバ



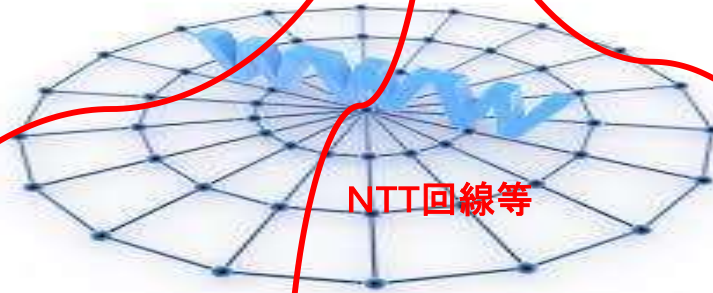
編集・保存・閲覧



VPN接続

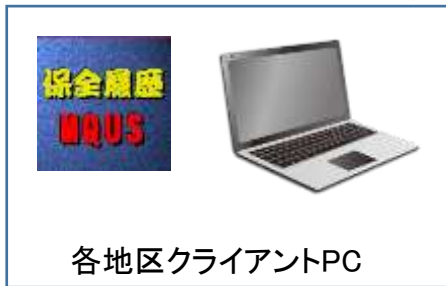


モバイルPC



NTT回線等

インターネットを経由し外部からのフォルダーアクセス



各地区クライアントPC



各地区クライアントPC



各地区クライアントPC

項目インポートの方式を従来のExcelシートから取り込（インポート）と保全履歴から逆引きリスト項目取り込が出来るようにしました。

保全履歴から逆引きリスト項目抽出登録画面

リスト項目インポート

工場名	作業項目
工程名	作業品質
装置名	計画突発区分
機器名	停止状況
職種	現象
機器大分類	原因(ハード)
機器中分類	原因(ソフト)
機器小分類	対策・処置
重要度	保全時期
保全方式	担当
適用法規	施工会社
製作メーカー	予備品

Excelシートインポート画面

リスト項目インポート

インポートデータ
説明

ソフト内庫本データ

工場名	作業項目
工程名	作業品質
装置名	計画突発区分
機器名	停止状況
職種	現象
機器大分類	原因(ハード)
機器中分類	原因(ソフト)
機器小分類	対策・処置
重要度	保全時期
保全方式	担当
適用法規	施工会社
製作メーカー	予備品

41

NO	項目
1	かた・緩み
2	異常音
3	プロセス漏洩
4	異常振動
5	異物混入
6	異常温度
7	摩耗
8	過電流
9	汚れ・汚染
10	漏電・絶縁不良
11	変形・伸び・曲り
12	腐食
13	亀裂
14	漏れ
15	脱落・外れ
16	その他
17	噛み込み
18	破損・切損
19	異音・振動

検索で、全保全履歴から設定項目を確認抽出表示し、登録で初期項目リストに反映されます。

項目の編集
①削除
②項目の入替の編集も可能です。

保全履歴からインポート

Excelシートからインポート

MQUSの使用開始時、項目を検討登録をするが実際保全履歴登録の運用していくと、当初のリスト項目が変化する、現実に合わせてリスト項目にする為にこの機能を追加した。

全保全履歴逆引き設備台帳新規作成機能

機器台帳・保全履歴整理 Ver30

設備台帳・保全履歴・点検整備カレンダー・項目インポート

説明

インポートデータ C:\柳田\data\CG作成ソフト\01 保全履歴管理\201 60224MQUSv30\

ソフト内原本データ C:\柳田\data\CG作成ソフト\01 保全履歴管理\201 60224MQUSv30\

No	発生年月日	件名	機器番号	工場名	工程名	装置名	機器名

登録確認

全保全履歴データから設備台帳を新規作成します。
既に登録されている設備台帳を削除する必要があります。
※注意：点検カレンダーがあればあらかじめ
月毎Excelを出力しておいてください。
設備台帳新規作成後カレンダーのインポートが必要です。
設備台帳を削除しますか？

はい(Y) いいえ(N)

設備台帳 保全履歴 点検・整備カレンダー 終了

リスト項目(Excel) **保全履歴逆引き設備台帳** 履歴逆引き項目登録

※当システムは設備台帳が無くても
保全履歴の登録が可能です。
ある程度履歴が蓄積後
設備台帳を逆引きで新規作成
できます。

保全履歴部分の設備仕様を確実に
登録してあれば
インポートソフト画面で
保全履歴逆引き設備台帳コマンドで
設備台帳作成機能が起動
質問“はい”で
保全履歴から設備台帳を
新規作成します。

操作ステップ

- ①もし既設備台帳に
点検カレンダーが存在するなら
事前に月毎カレンダー
をExcel出力
- ②既にある設備台帳の削除
- ③設備台帳新規作成後
設備台帳リストでSort整理
- ④点検カレンダーインポート
完了